

海外子会社 Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. における 環境に配慮した経営の実践に関する取り組み

マレーシア三井住友銀行による「SMBC環境配慮評価融資～マレーシア版～」の実施について

日清オイリオグループ株式会社(社長:久野 貴久)は、中期経営計画で成長戦略を支える重要な施策として、「ESGを重視した経営の実践」を進めています。その一環として、マレーシアの海外子会社である Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.(以下 ISF 社)では、パーム油産業の健全な発展への貢献を中心に、環境に配慮した経営の実践に取り組んでいます。

今回、ISF 社では環境配慮への取り組み状況について、株式会社三井住友銀行(頭取CEO:高島 誠)の全額出資子会社であるマレーシア三井住友銀行(社長:甲斐中 哲也)とErnst & Young LLPが独自に設定した環境配慮評価基準に基づく評価を実施し、高い評価を得たことを受けて、マレーシア三井住友銀行による「SMBC環境配慮評価融資～マレーシア版～」を在マレーシア食品製造企業で初めて適用されました。

■ISF 社における環境配慮への主な取り組み

- ・ サプライチェーンの各段階における環境影響を評価し、環境および社会への取り組みに関する具体的な活動方針を策定、実行しています。
- ・ ISO14001 に対応した環境マネジメントシステムを導入するとともに、サステナビリティに係る専門部署を設置し、サプライヤーも含めた取り組み状況の管理と運用の徹底に努めています。
- ・ 原料調達におけるトレーサビリティの管理を徹底するとともに、持続可能なパーム油(認証油)に対応した製品割合の正確な把握や、製造過程における温暖ガス排出状況などの環境影響をモニタリングする管理体制を構築しています。
- ・ これらの取り組みに関し、ISF 社の Web サイトにおいて環境対応に関するコミットメントや、サプライヤーに対する行動規範を公開するとともに、活動の進捗状況を開示しています。

■マレーシア三井住友銀行による「SMBC環境配慮評価融資～マレーシア版～」の適用について

ISF 社における上記の取り組み状況について、マレーシア三井住友銀行とErnst & Young LLPが独自に設定した環境配慮評価基準に基づく評価を実施し、ISF 社では「全社的な環境マネジメント体制のもと、本業との関わりを意識した積極的な取り組みが行われている」として、マレーシア国内製造会社では高い評価結果となりました。

この結果を受けて、マレーシア三井住友銀行では、マレーシア企業の環境配慮状況に応じて融資条件の設定を行う「SMBC環境配慮評価融資～マレーシア版～」における、在マレーシア食品製造企業に対しては初の取り組みとして ISF 社への融資適用(30百万 MYR)を決定しました。